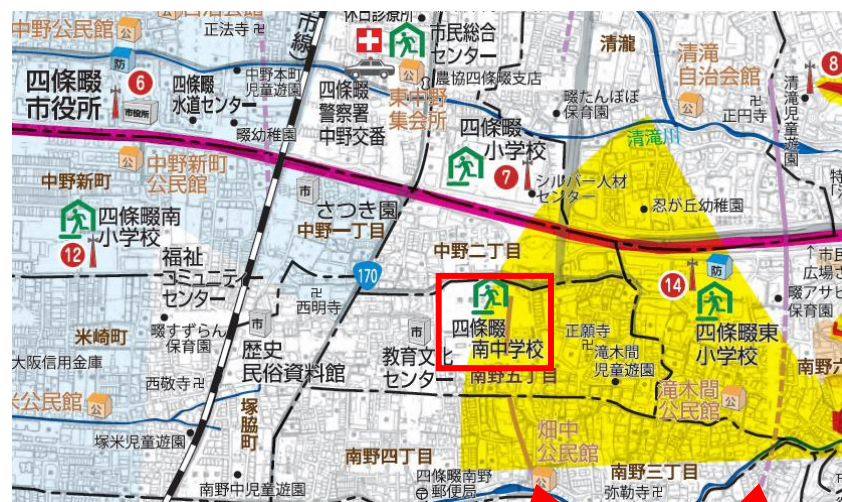


四條畷市立四條畷南中学校敷地内活断層調査結果概要版

資料 2

四條畷防災マップに示す活断層の位置

生駒断層が四條畷南中学校の敷地にかかっている。



防災マップに記されている活断層位置

四條畷南中学校の位置図

調査方法

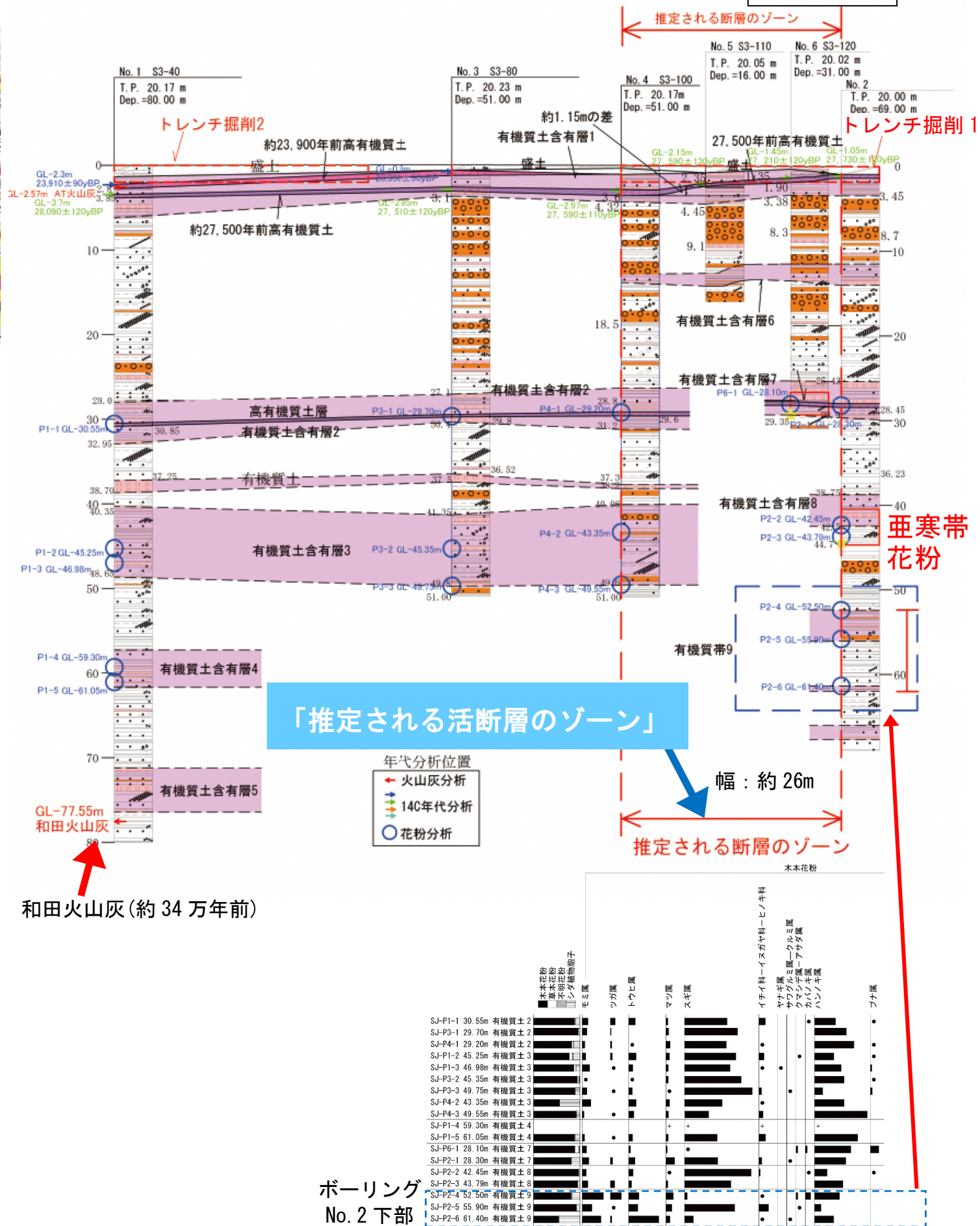
- ボーリング 8 箇所
No. 1 : 80m, No. 2 : 69m, No. 3 : 51m, No. 4 : 51m
No. 5 : 16m, No. 6 : 31m, No. 7 : 18m, No. 8 : 18m
- トレンチ 2 箇所 トレンチ 1 (長さ 26m × 幅 1.5m × 深さ 1.5m)
トレンチ 2 (長さ 30m × 幅 1.5m × 深さ 2.0m)
- 試料分析 : 花粉分析 : 18 試料 (花粉化石の分析より地層が溜まった当時の植生を明らかにし、それにより地層が溜まった時の気候、環境を推定する)
火山灰分析 : 2 試料 (火山灰中に含まれるガラス、鉱物の屈折率測定より年代が判明している火山灰と対比することで地層の堆積年代を推定する)
放射性炭素年代 : 11 試料 (材、炭、有機質土の放射性炭素測定より年代を直接計測する)

調査の結果

- ボーリング調査・・・No. 4 西側と No. 4 東側の地層が連続せず (地層の比較、花粉分析より)、No. 4 ボーリングの東側に断層がある可能性が高いことが判明した。
- トレンチ調査・・・東側のトレンチ 1 (No. 4 ボーリング～No. 2 ボーリングに実施) より、約 27,500 年前の地層がゾーンを持って変形していることが判明した。
- 分析結果・・・花粉分析結果 : No. 2 ボーリング下部にのみ亜寒帯を示す花粉化石が認められた。亜寒帯を示す花粉化石は同等の深度まで掘削した No. 1 コアで認められず 2 本のボーリングの間で地層のズレが生じた可能性が高いことが判明した。

活断層の通っている位置について

- ①生駒断層は学校敷地の東端付近を南北に通っている可能性が高い。
- ②断層は幅 (ゾーン) を持って分布している可能性が高い。
- ③今回明らかになった断層の位置は既存の都市圏活断層図に書かれている場所とほぼ一致している。



和寒帯を示す
モミ・トウヒ属多い

四條畷市立四條畷南中学校敷地内活断層調査結果概要版

「推定される活断層のゾーン」



ボーリングコア写真 (m)
(ボーリング No. 4)



ボーリング状況

都市圏活断層図に
描かれている
活断層の位置

幅：約26m

トレンチ2
(長さ30m、幅1.5m、深さ2.0m)

トレンチ1
(長さ26m、幅1.5m、深さ1.5m)



トレンチ掘削状況(トレンチ

ボーリング No. 1

ボーリング No. 3

ボーリング No. 4

ボーリング No. 6

ボーリング No. 2

ボーリング No. 5

校舎とゾーンの距離
約17.5m

プール

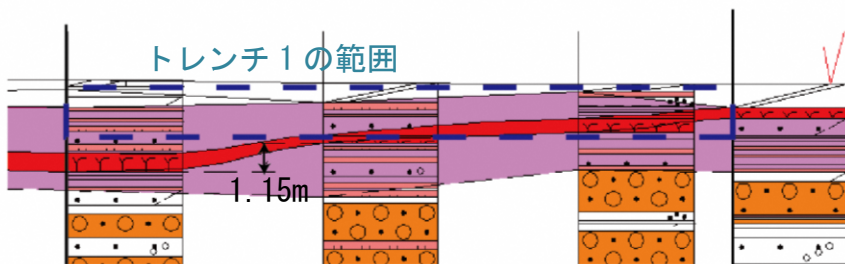
校舎

体育館

27,500年前の地層の変形

ボーリング No. 4

ボーリング No. 2



地層の変形(トレンチ1拡大)

四條畷南中学校平面図

ボーリング No. 7

ボーリング No. 8